

第37回建設業経理事務士検定試験

4級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 長崎工務店は、現金¥500,000を元手に事業を始めた。
- (2) 本社事務所で使用する文房具を購入し、その代金¥18,000を現金で支払った。
- (3) 金銭の貸付先から元金¥350,000とその利息¥3,000が当店の普通預金口座に振り込まれた。
- (4) 外注先より作業完了の報告を受け、代金¥150,000を小切手を振り出して支払った。
- (5) 工事が完成したため引渡し、その代金¥980,000が当座預金に振り込まれた。
- (6) 現場の事務所家賃¥30,000と現場の電話代¥5,000をまとめて現金で支払った。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 受取利息	D 普通預金	E 資本金
F 事務用消耗品費	G 借入金	H 完成工事原価	J 完成工事高	K 支払利息
L 材料費	M 労務費	N 外注費	Q 経費	R 貸付金

〔第2問〕 次の問に解答しなさい。（20点）

問1 次の文の の中に入る用語として最も適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～タ）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 企業の経営活動を記録・計算するために設けられた帳簿上の場所を 1 といい、これには標準式と 2 がある。
- (2) 簿記には、その記帳方法の違いによって 3 と 4 の二つがある。
- (3) 残高試算表の貸方には、収益と 5 と 6 に属する諸勘定の残高が記入される。
- (4) 7 は費用の勘定科目であり、 8 は収益の勘定科目である。

〈用語群〉

ア 仕訳帳	イ 総勘定元帳	ウ 資本（純資産）	エ 収益	オ 資産
カ 複式簿記	キ 貸付金	ク 借入金	コ 受取利息	サ 支払利息
シ 勘定口座	ス 費用	セ 単式簿記	ソ 残高式	タ 負債

問2 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。ただし、期中に資本の追加元入れ及び引出しはなかったものとする。なお、当期純損失の場合は△（マイナス）の符号をつけること。

（単位：円）

年度	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または当期純損失 (△)
	資 産	負 債	資 本 (純資産)	資 産	負 債	資 本 (純資産)			
X	50,000	(ア)	23,000	(イ)	30,000	(ウ)	80,000	(エ)	12,000
Y	(オ)	75,000	(カ)	93,000	(キ)	8,000	(ク)	152,000	△ 2,000
Z	(ケ)	155,000	41,000	213,000	166,000	(コ)	(サ)	50,000	(シ)

〔第3問〕 関東工務店に関する次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（平成×9年6月30日現在）を完成しなさい。 (30点)

<資料1>

合計試算表
平成×9年6月15日現在 (単位：円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
869,000	現 金	320,000
723,000	当 座 預 金	202,000
220,000	備 品	
178,000	土 地	
	借 入 金	400,000
	資 本 金	820,000
	完 成 工 事 高	530,000
55,000	材 料 費	
45,000	労 務 費	
18,000	外 注 費	
13,000	経 費	
96,000	給 料	
5,000	通 信 費	
5,000	旅 費 交 通 費	
39,000	支 払 家 賃	
6,000	支 払 利 息	
2,272,000		2,272,000

<資料2> 平成×9年6月16日から30日までの取引

- 18日 営業部員の交通費¥8,000を現金で支給した。
- 〃 工事用の木材を購入して現場へ直送し、その代金¥60,000を現金で支払った。
- 20日 本社事務員の給料¥13,000を現金で支払った。
- 〃 現場作業員の賃金¥18,000を現金で支払った。
- 23日 銀行より¥500,000を借り入れ、当座預金に入金された。
- 25日 手許現金を補充するため、小切手¥80,000を振り出した。
- 28日 現場の電話料¥20,000が当座預金から引き落とされた。
- 30日 借入金の利息¥8,000を現金で支払った。

〔第4問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。 (26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。